

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和7年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立相模川自然の村、相模原市立相模川自然の村野外体験教室(愛称：相模川ビレッジ若あゆ)
指定管理者名	コンパスグループ・ジャパン株式会社
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立相模川自然の村条例、相模原市立野外体験教室条例
施設の設置目的	【相模原市立相模川自然の村】 相模川の豊かな自然環境の中で、市民に保養の場を提供し、市民の健康の増進及び観光の振興を図り、もって市民福祉の向上に寄与するため（相模原市立相模川自然の村条例第2条第1項） 【相模原市立相模川自然の村野外体験教室】 小・中学校等における教育活動としての体験学習及び集団宿泊生活を通して自然や人とふれあうことにより、児童生徒の創造性及び主体性を培い、もって豊かな心をはぐくむ教育の推進に寄与するため（相模原市立野外体験教室条例第2条）
施設概要	【共通事項】 所在地 相模原市緑区大島3497-1 構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上3階建て 【相模原市立相模川自然の村】 延床面積 3,304㎡ 主要施設 客室10室（定員47名）、会議室、大広間、カラオケルーム、娛樂室 など 【相模原市立相模川自然の村野外体験教室】 延べ床面積 8,854㎡ 宿泊室 全34室 宿泊定員 306人 主要施設 ふれあいホール（多目的ホール）、クラフトルーム（工作室）、銀河ドーム（天体観測室）、虹のシアター（視聴覚室）、野外炊事場 等
施設所管課	【相模原市立相模川自然の村】 市長公室政策部観光政策課 【相模原市立相模川自然の村野外体験教室】 教育局学校教育部相模川自然の村野外体験教室

2 管理実績

【相模川自然の村清流の里】

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	4,669	6,431	7,389	7,253			
利用料金合計（円）	14,842,569	20,681,790	23,581,123	23,139,511			

【相模川自然の村野外体験教室】

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	14,784	15,772	16,274	15,982			
利用料金合計（円）							

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	【清流の里】 指定管理者選考の段階で示しているとはいえ、非常に高い目標値の設定である。その中で、客室稼働率は昨年引き続き高い実績を示しており評価できる。 しかし、部屋料金が1人あたりで設定されていることもあり定員での利用が少なく、人員稼働率の上昇が課題である。現在、条例では宿泊料金は人数単位で定められているが、ホテルに宿泊する際の料金設定は部屋単位で設定されることがスタンダードであることから、条例改正を含め検討の余地があると考ええる。

指標1	
指標名（単位）	客室稼働率の向上（86.0%→86.5%に向上）
指標式と指標の説明	客室稼働数÷稼働可能客室数×100（%） 客室稼働率の向上または現状を維持することにより、質の高いサービスを安定して提供し、公共の宿泊施設として、相模川の豊かな自然を背景に、市民の憩いと安らぎの場を目指す。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（単位）	86.0	86.0	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0
実績値（単位）	57.0	73.8	84.8	83.9			
達成度（%）	66.3%	85.8%	98.6%	97.0%			

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	【清流の里】 現在のオペレーションで新たな自主事業を仕掛けることは難しいとのことだが、本業の内容との相乗効果が見込めるような自主事業を実施し、施設の魅力が向上することを期待する。 また、事業内容については、施設利用者のニーズにマッチするような事業を検討・実施してほしいと考える。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業（清流の里）

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
記念日プレゼント	随時	誕生日、記念日に宿泊されたお客様に記念品のプレゼント	○
ポイントカード	随時	宿泊1,000円につき1ポイント付与し、割引券を発行（10ポイントで1,000円）	○
地域連動企画	4月・3月	『おおさわ桜祭り』に出店参加しコーヒーを販売 レストランでは、『おおさわ桜祭り応援特別ランチ』を販売	○
夏休みイベント	8月	ご家族の利用に花火のプレゼントし、親子の思い出づくりをサポート	○
年越しそば	大晦日	大晦日に宿泊されたお客様に年越しそばを提供	○
新年のお祝い	元旦	朝食時につきたてのお餅やお雑煮、おせち料理を提供	○
選べる浴衣	随時	定番の柄の他4種類の色柄用意	○
選べる枕	随時	やや固めのストローチップと羽枕を用意	○
売店の充実	随時	相模原の特産品などを販売するに当たり、随時見直しを行っている。	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	【清流の里】 前年度実績値の目標値を超える数値を達成しており、施設の人気ぶりがうかがえる結果である。 【野外体験教室】 アンケートの結果は好評である。利用者の生の声は大切なので、引き続き実施していただきたい。 食事の量が多いという回答があるが、残飯の発生につながっていないのであれば肯定的な回答として評価できる。

【清流の里】

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	宿泊利用者へのアンケート調査を実施（令和7年度回収件数：1,117件：回収率39.0%）
目標値の基準	設問⑧「今後の利用について」に対する「また利用したい」の回答の割合の前年度実績値

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	82.0	89.0	89.0	89.5			
実績値（%）	89.0	89.0	89.5	90.0			
達成度（%）	108.5%	100.0%	100.6%	100.6%			

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
(なし)		

【野外体験教室】

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者に実施するアンケート結果【アンケートに回答があった学校等（112／140団体：回答率80%）】
目標値の基準	レストランの利用で、「十分満足」及び「満足」と回答した学校等の割合が98%以上であること。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（%）	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
実績値（%）	97.6	98.3	95.5	98.2			
達成度（%）	99.6%	100.3%	97.4%	100.2%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	【清流の里・野外体験教室共通】 施設自体の収支は赤字となっているが、受託事業者本体の経営状況は良好である。 今回の結果は、昨今の人件費及び物価高騰が支出の増加につながっていることが如実にわかる結果である。 今後、自主事業の拡充に加え、配膳や警備、清掃等にロボットを導入することで省人化を検討したり、業務手順の見直しで効率化をはかることを検討いただきたい。 また、清流の里においては、レストランのメニューに加え、宿泊料金の値上げも検討することを求める。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		(千円)
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入（a）		293,024,591	313,435,387	315,256,055
指定管理料		163,782,799	196,970,000	196,970,000
利用料金収入		20,681,790	23,581,123	23,139,511
その他の収入		108,560,002	92,884,264	95,146,544
支出（b）		303,894,081	331,455,321	352,888,815
人件費		127,371,954	139,583,994	150,971,131
本社管理経費		0	0	0
その他の支出		176,522,127	191,871,327	201,917,684
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-10,869,490	-18,019,934	-37,632,760
自主事業収入（d）		292,050	555,500	708,900
自主事業支出（e）		2,660	387,612	479,534
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		289,390	167,888	229,366
全体収支【(c)+(f)】		-10,580,100	-17,852,046	-37,403,394
備考	【清流の里】	令和6年度は「令和5年度の物価高騰に係る損失補償（1,302,535円）」を含む。		
		令和6年度と7年度を比較すると、収入が増えているものの、それ以上に人件費等の支出が増えており、施設として赤字が続いている。		
	【野外体験教室】	令和5年度のその他の収入には、「令和4年度の原油価格・物価高騰に係る損失補償として11,803,059円」及び「令和5年度分の指定管理者施設持続支援金として9,800,000円」が含まれている。		
		令和6年度のその他の収入には、「令和5年度の物価高騰に係る損失補償として3,039,249円」が含まれている。		
		令和6年度以降の支出については、水道光熱費や食材費などの物価高騰の影響から支出額が増えている。		

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市所定のチェックシートに基づき現地調査及び指定管理者へのヒアリングにより検査を実施
実施時期	【相模川自然の村】令和8年3月 【相模川自然の村野外体験教室】令和7年12月～令和8年2月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ ※清流の里のみ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

【清流の里】

本年度の宿泊稼働総数は2,863室で、客室稼働率は83.9%、宿泊利用人員は7,253名で人員稼働率は45.2%でした。前年に対して宿泊稼働数は47室減、宿泊利用人員は136名の減という結果となりました。この減少は、6月に実施した和室の畳表替えによる利用制限が影響したことも要因となりました。

レストランのランチ利用については1日平均93名で、前年平均を8名上回る結果となりました。7月に実施したグランドメニュー及び価格改定がありましたが、大きな影響もなく引き続きご利用いただけている状況です。

ご宿泊利用者へのアンケート実施において、アンケート回収総数1,117枚中、「今後の利用に関する項目」にお答えいただいた1,062枚の内1,062枚の全ての方が「また利用したい、機会があれば利用したい」という、昨年に引き続き大変有難い回答結果を得ることが出来ました。

この結果を維持できたのは、お客様のアンケートによる要望に対し、昨年度実施しましたマッサージ器やカラオケ機器の更新及び客室・廊下等への手摺設置など、目に見える形での対応をした結果であると認識している。但し、急激な物価高騰によるコスト増が影響し経営状況の悪化は継続しており、今後も価格の見直しによる増収を図ることで利益確保をする必要があると認識しております。

【野外体験教室】

・レストラン運営業務については、クライアント様のご協力により食事の提供及び教材の手配も問題なく実施することができました。アレルギー対応では、昨今対応食材が多種にわたっているところ、事前確認を着実にを行いアレルギー対応表及び色分けトレーを活用しながら、十分に注意を図りつつ対応した結果、問題なく提供することができました。また、プリン及びヤクルト専用の賞味期限確認表を活用し、日々でのチェック作業をし期限切れ商品の提供を防止することができました。

・管理運営業務においては、清掃・設備・警備業務も特に問題なく遂行されております。

・経営状況においては、急激な物価高騰によるコスト増が影響し経営状況の悪化は継続しており、今後課題を残す結果となった。

10 所管課意見

【清流の里】

・「3 成果指標の達成度」は、達成度が前年度から微減となったものの、目標値が0.5ポイント上がったこともあり達成度としては減少した。しかし、所管課としては十分と考える数値である。飲食の内容のほか、質の高いサービスを心掛けて提供している結果、根強いリピーターを確保できていることによるものとも捉えられ、評価する。

・「4 事業の実施状況」は地域のまつりへの出展や関連したランチの販売、売店の商品を随時見直し、地場産の商品を随時取り入れていることが継続して実施されていると考えており、評価している。

・「5 利用者の満足度」は前年度よりも高い目標値の設定となったにも関わらず、その目標値を上回る実績を得られた。宿泊利用者アンケートで90%の利用者から「また利用したい」と回答いただいていることについて、実際に多くのリピーターを獲得しており、サービスの満足度が高いことを証明していると考えている。

・「6 施設の経営状況」は昨年度の全体収支から大きく赤字幅が昨年度の倍以上に増大する結果となった。今後も物価の高騰など支出の増加は続くことが見込まれるため、価格の見直しなどによる収支の改善が課題と認識している。

【野外体験教室】

・レストラン利用については施設利用者から満足度が高い評価を得ており、特にアレルギー対応が必要な児童生徒に対しては保護者との連絡調整を密に行い、配慮が必要な食事提供を安全に実施していることは評価できる。

なお、食堂運営収入の増に繋がるような特別メニュー品目の追加や単品メニューの新規開発など、積極的な導入に向け検討していただきたい。

・児童生徒部屋に配備している防犯ブザーの交換や、敷地内の落ち葉清掃や折れた枝の撤去など、市からの依頼に速やかに対応し、施設利用者の安全等に配慮していただいていることは感謝している。

・利用者アンケート等で寄せられる意見への対応のほか、利用者満足度の向上に繋がるような積極的な取り組みを期待したい。

11 選考委員会意見

【清流の里】

- ・施設単体で分析した場合、収支が大幅な赤字になっている。至急収入増に向けた取組が必要であり、指定管理者には自主事業の拡充を、市には宿泊料金の改正に向けた検討を求めたい。
- ・収入増への取組と同時に、支出を減らす工夫も必要である。ロボットを用いた省人化など将来的な施策の検討も必要と思われるが、すぐできることとして、こまめな電気の消灯などによる光熱水費の抑制を継続して実施していく現場の努力が必要である。市においては、施設のLED化の実施を期待したい。
- ・食事についても、高級感のある美味しいメニューやホスピタリティあふれる接客など付加価値を提供することにより、価格を抑えることよりも適切な価格改定を行っていくことが必要ではないかと考えられる。

【野外体験教室】

- ・食材費高騰で支出額が大幅に伸びているが、令和8年4月から食事メニューの料金を改定しているようなので、レストラン利用の収支について様子を確認したうえで、指定管理者の若あゆでの主な収入源であるレストランの利用料金について、所管課と指定管理者で協議しながら、新たな収入を検討していただきたい。
- ・光熱費については、LED照明化を予定しているようなので、早期に実施して固定費である電気料金の縮減を図っていただきたい。
- ・「児童生徒へのアンケート」は、利用している子供たちの生の声なので、抽出でよいので今後も引き続き実施していただきたい。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

